



PRAP JAPAN Inc.

2017年5月23日

株式会社プラップジャパン

第55回 JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクールにて プラップジャパンが携わったプロジェクトが屋外・交通広告部門で入賞

広報・PR活動の支援・コンサルティングを手がける総合PR会社・株式会社プラップジャパン〔本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴木勇夫〕は、当社がPR企画に携わったジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケア カンパニー『読めない看板 by ACUVUE® スポ×コン応援団』が、「第55回 JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」の「屋外・交通広告部門」においてメダリストに入賞いたしましたことをご報告します。

「JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」は、公益社団法人 日本アドバタイザーズ協会が主催するもので、審査員に広告の関係者を含まず、広告の受け手である消費者が生活者の視点から審査を行なう、世界でも類を見ない大きな特徴を持つ総合広告賞です。

第55回となる今回は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web、屋外・交通の6部門合わせて1,938点の応募があり、屋外・交通広告部門は216作品の応募の中から、グランプリ1作品、メダリスト9作品が入賞しており、メダリスト作品は「街、駅、車中で消費者にその生活を邪魔することなく楽しみや驚きを提供することに成功している」と評されています。



〈受賞作品〉

広告主：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケア カンパニー

商品名：ACUVUE®

タイトル：読めない看板 by ACUVUE スポ×コン応援団

企画：猿人 | ENJIN Inc.

制作：株式会社たき工房

PR：株式会社プラップジャパン

〈この件に関するお問い合わせ先〉

株式会社プラップジャパン 広報・IR 室 清宮

TEL：03-4580-9125

■ 読めない看板 by ACUVUE スポ×コン応援団

事業主体: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケア カンパニー

読めない看板で、スポーツを頑張る中高生に視力の大切さを啓発

子どもたちの視力が年々低下するなか、コンタクトレンズブランド「アキュビュー®」は、中高生の視力矯正意識を高める啓発 PR 活動を展開しました。

本活動では、コンタクトレンズ装用理由の上位で、尚且つ中高生の生活で大きな割合を占める「スポーツ(部活動)」に着目し、「適正視力でスポーツをすることの大切さ」を啓発するプロジェクト『スポ×コン(スポーツ×コンタクトレンズ)応援団』を立ち上げました。プロジェクト最大の目玉は、15～17歳の裸眼視力1.0未満の割合が多い都道府県として、過去3年間ワースト3に登場していた北海道で展開した「読めない看板」です。スポーツに励む中高生に自分の視力に気づきを与えることを目的に、視力検査表を模して制作したこの看板を、彼らの通学路を中心とする民家や飲食店内、学校構内など、全25箇所に設置しました。札幌の街を一夜にしてジャックした読めない看板は、地元TV番組や新聞、Webニュース等、様々なメディアを通じて報じられ、広く話題となりました。

■ プラップジャパンについて

プラップジャパンは、メディア対応をアドバイスするメディアトレーニング*や広報・IR活動の支援を手がける総合PR会社です。各業界、専門分野に精通した数多くのPRスペシャリストを有し、企業・団体の広報コンサルティングおよびマスメディアとの強力なネットワークによるメディアリレーションを中核に、業界トップクラスの実績をもつメディアトレーニング、戦略PR、ソーシャルメディア対応、PRイベント、PRポータル・サービスなど、総合的なコミュニケーションサービスを提供しています。

URL: <http://www.prap.co.jp/>